

インナーハウスプレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナル名（フリガナ）
フリガナ) せんしゅう	フリガナ) けいざいがくぶ	フリガナ) じょ いちえい
専修大学	経済学部	徐 一覧

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) オールフォーオール	フリガナ) ドイ ユウマ			
all for all	土居 優真	4人	無	

※当日使用するPC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物（例：商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート）

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただいております。あらかじめご了承ください。

研究テーマ（発表タイトル）

Basic income ~敗者復活のできる社会をめざして~

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

いま、日本では貧困が非常に進行している。日本は先進国であり、豊かな国とイメージがあるかもしれないが、実際には6人に1人が貧困状態に陥っているのが現状だ。

現在の日本では、貧困層の方々に生きる権利を保障する最後のセーフティーネットとして生活保護制度がある。しかし、現行の生活保護制度では捕捉率が悪く、公正な所得分配が機能していない事が問題となっている。

そこで、私たちは新たな社会保障制度として「ベーシックインカム政策」を取り入れる事で、現行の社会保障制度の問題点の解決に繋がると考える。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

日本はバブル崩壊以降の長引く不況の下で成長は鈍化し、労働者の賃金は全体として減少傾向にある。それに伴い、企業の雇用体制が変化し、非正規雇用の増加などによって格差が拡大してきている。また、上記にあるように、生活保護制度は公正

な所得分配が機能しておらず、さらに水際作戦や、スティグマの問題など多くの問題を抱えている。同様に定年退職後の生活を支えている年金制度においても様々な問題を抱えている。本来、これらの社会保障制度とは失業や老化などにより自立した生活を維持できない場合に、国が保険者として私たちの生活を保障するものだ。それにも関わらず、複雑かつ問題点が多い現時点の社会保障制度は見直す必要がある。

私たちは社会保障制度として「ベーシックインカム政策」を取り入れる事で、上記で述べた社会保障制度の問題点解決に繋がると考える。ベーシックインカムでは、個人や家庭の経済的理由は関係なしにすべての国民に一定金額が給付される。その為、生活保護の需給漏れのような問題もなくなり、貧困層の人数も減少していくだろう。



3. 研究テーマの課題

この研究テーマで私たちが課題であると感じたことは以下に記す三点である。

- ① ベーシックインカムを実施した場合の労働意欲の問題
- ② ベーシックインカムで給付された給付金の使い方

- ① の問題は、ベーシックインカムでは働くなくても最低限の生活が保障される所得が手に入るため、労働意欲の低下が懸念される。
- ② の問題は、すべての人間が先見性をもってお金を使えるわけではない為、貯金や自己研鑽などに使わず、パチンコや競馬などのギャンブルに消費してしまう人間が必ずでてきてしまう。完全なる自己責任の社会になってしまい貧困の連鎖が続いている可能性がある。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

①.②の問題を解決するために私たちは、「ベーシックインカムのカード化」を提案する。毎月、ベーシックインカムで給付される金額が国民一人一人に配られたカードにチャージされるというシステムだ。現金ではなくカードでの配布にすることで、使用する場所の制限を付加させることができる。これにより②の問題である競馬やパチンコなどのギャンブルによる使用を制限することができるようになり、元来の目的である最低限の生活を保障することができると考える。

また、カード化による使用制限が設けられることによって、生活は保障されるが、娯楽や趣向品は買うことができない。その欲求を満たすためには、労働によって賃金を獲得しなければいけないので、①の問題も解決されると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは、ベーシックインカムを実際に受けている人に話を聞くために、世界初、家賃0円、食費支給のシェアハウスである「ベーシックインカムハウス」の方々に取材を行った。住民の方々の実体験に基づく労働意欲やライフスタイルの変化などをインタビューした。さらに、カナダのマニトバ州で行われたベーシックインカムの実験「MINCOME」について調べ、ミクロとマクロの両方の面で、ベーシックインカムの抱える問題を検証した。



6. 結果や今後の取り組み

実際にベーシックインカムハウスに取材を行った際に、ベーシックインカムを新たなビジネスモデルとして通用する可能性を感じた。ひとしづく株式会社など報酬体系でベーシックインカムを取り入れている企業もあるので、取材を行い、違う角度からもベーシックインカムを考えていきたい。

また、ベーシックインカムの考え方自体を普及させていくために、ベーシックインカムハウスと共同でイベント活動などを行っていきたい。

7. 参考文献

- ・中公新書（2015）『ベーシックインカム』 原田泰
- ・ちくま新書（1999）『セーフティーネットの経済学』 金子勝
- ・東洋経済新報社（2016）『18歳からの格差論』 井出英策
- ・岩波書店（2014）『租税抵抗の財政学』 佐藤滋
- ・小沢修司（2001）『ベーシックインカム論と福祉社会の展望：所得と労働の関係性』2018/8/31 アクセス
<https://ci.nii.ac.jp/naid/110004520178>
- ・田中敏弘（2017）『カナダにおけるベーシックインカム論の展開』2018/8/31 アクセス
https://reitaku.repo.nii.ac.jp/index.php?active_action=repository_view_main_item_detail&page_id=13&block_id=29&item_id=1002&item_no=1

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員（ビジネスパーソン・大学教員）の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナーハウス終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナーハウスプレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会（プレゼン局）にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください